

IRIDeS 金曜フォーラム
東北大学災害科学国際研究所
平成 25 年度特定プロジェクト研究成果報告会

東北大学災害科学国際研究所では、自然災害科学に関する世界最先端の研究を推進するために、「特定プロジェクト研究」の募集を行い、研究を推進しています。本会では、昨年度までに実施された「特定プロジェクト研究」の研究成果を下記の要領で報告させていただきます。

1. 日時

2014 年 7 月 13 日（日） 9:00～17:00

2. 会場

東北大学片平キャンパス さくらホール（別掲 4 参照）

3. 報告会の流れ

8:30	開場
9:00— 9:10	開会の挨拶（所長・今村文彦）
9:10—12:00	口頭発表（午前の部 8 件，別掲 1 参照）
12:00—13:00	休憩
13:00—14:00	ポスターセッション・コアタイム（別掲 2 参照）
14:00—16:50	口頭発表（午後の部，8 件，別掲 1 参照）
16:50—17:00	閉会の挨拶（副所長・奥村誠）

※常設：ポスター，スライドショー（別掲 3 参照）

4. 報告形式

口頭発表： [拠点研究 A] と一部の [拠点研究 B] について，研究代表者が口頭で研究報告を行います。

ポスターセッション： 上記以外の [拠点研究 B] と [拠点研究 C] と [連携研究 a,b,c] について，ポスター形式で研究報告を行います。13:00～14:00 のコアタイムでは，主に研究代表者が，ポスター前で研究内容について説明します。

スライドショー： [共同研究 A,B] について，スライドショー形式で研究内容を投影します。

※研究区分の説明

拠点研究： 所内の教員が代表者 となって推進する研究課題。A～C は予算規模の区分。

連携研究： 所内の教員が代表者 となって，他研究機関と連携して推進する研究課題。a：海外大学，b：被災 3 県国立大学，c：国内連携国立大学

共同研究： 所外の教員が代表者 となって，所内の教員と連携して推進する研究課題。A～B は予算規模の区分

別掲1

□頭発表プログラム

(発表 15 分+質疑応答 5 分)

【午前の部】

9:10-9:30 A-1

構造ヘルスマニタリング機能を有する次世代早期地震警報システムの開発

災害リスク研究部門 源栄正人

9:30-9:50 A-2

1611 年慶長奥州地震津波の総合的調査およびデータベース構築

災害リスク研究部門 今村文彦

9:50-10:10 A-5

行動科学にもとづいた新しい防災戦略の提案

人間・社会対応研究部門 馬奈木俊介

10:10-10:30 A-3

災害発生直後の救援活動に資する広域被害把握技術の社会実証

災害リスク研究部門 越村俊一

10:30-10:40 (休憩 10 分)

10:40-11:00 A-4

生きる力とは何か～震災時行動の認知科学的分析

人間・社会対応研究部門 杉浦元亮

11:00-11:20 A-6

反射法地震探査による活断層（山形盆地）の地下構造解明と活動性評価

災害理学研究部門 今泉俊文

11:20-11:40 A-7

東北地方太平洋沿岸域における段丘・埋没地形の分布高度・編年に基づく

長期地殻変動の復元と巨大海溝型地震にともなう歪みの蓄積・解放過程の解明

災害理学研究部門 丹羽雄一

11:40-12:00 A-8

人間の安全保障に向けた災害感染症への取り組み

災害医学研究部門 服部俊夫

【午後の部】

14:00-14:20 A-9

災害関連精神疾患への支援体制整備のための基礎研究

災害医学研究部門 富田博秋

14:20-14:40 A-10

震災時ストレスとその後の生活環境変化が婦人科疾患に及ぼす影響の解析

災害医学研究部門 伊藤潔

14:40-15:00 A-11

歯を用いたヒト内部被曝歴の解析—福島・宮城県在住幼小児の脱落乳歯を用いた線量評価—

災害医学研究部門 鈴木敏彦

15:00-15:20 A-12

石巻市（市街地部）の物的空間の再・創生のための研究及び実践活動

情報管理・社会連携部門 小野田泰明

15:20-15:30 (休憩 10分)

15:30-15:50 A-13

研究所の実践的防災学の知見を国際防災政策に反映させるための研究

情報管理・社会連携部門 小野裕一

15:50-16:10 B-23

災害の記憶・記録に関する拠点間の連携を通じた災害アーカイブ学の探求

情報管理・社会連携部門 佐藤翔輔

16:10-16:30 B-2

津波による海岸樹木の被害リスク評価手法の高度化

災害リスク研究部門 今井健太郎

16:30-16:50 B-7

仙台湾～三陸沖における巨大津波の波源域の時空間的分布および古津波規模の解明

災害リスク研究部門 菅原大助

ポスター

(常設, コアタイム: 13:00~14:00)

【拠点研究】

- B-1 東日本大震災における仙台市内の面的地震動推定と振動被害
災害リスク研究部門 大野晋
- B-3 2011年大津波による大規模浸食機構の解明と浸食抑制方法の提案
—ねばり強い海岸堤防の復興を目指して—
災害リスク研究部門 真野明
- B-4 日本・タイの海浜変形比較による巨大津波前後の海浜変形およびその後の回復特性の解明
災害リスク研究部門 有働恵子
- B-5 洪水被害低減に向けた実践防災学的アプローチ〜ジャカルタ洪水を一例として〜
災害リスク研究部門 呉修一
- B-6 沿岸湖沼掘削に基づく南東北〜関東地域の古津波履歴と規模の推定
災害リスク研究部門 後藤和久
- B-8 緊急時のリスク認知プロセスの心理・神経基盤の解明とその応用
人間・社会対応研究部門 野内類
- B-9 災害対応ゲーミング実験の方法論と実験施設のあり方
人間・社会対応研究部門 奥村誠
- B-10 大規模災害発生時における歴史資料保全システムの研究
宮城学院女子大学 学長(元 人間・社会対応研究部門) 平川 新
- B-11 4次元災害科学情報の重層的見える化システムに関するパイロット研究
地域・都市再生研究部門 寺田賢二郎
- B-12 高所の被災・老朽化調査のための超小型飛行・固着離反ロボットの研究
地域・都市再生研究部門 田所諭
- B-13 超深海型音響測距装置開発と日本海溝の海溝軸の地殻変動観測への適用
災害理学研究部門 飯沼卓史
- B-14 MR(Mixed Reality)技術による3D映像表示システムの開発
東北大学大学院理学研究科 (元 災害理学研究部門) 趙大鵬
- B-15 東北日本弧内陸活断層における地表活断層と地下地質構造の対応関係
災害理学研究部門 岡田真介
- B-16 数値気象予報モデルの高度利用に関する研究
災害理学研究部門 山崎剛
- B-17 落雷災害把握に向けたELF磁場観測による落雷エネルギー推定
災害理学研究部門 土屋史紀
- B-18 医療ニーズに基づく災害に強い病院BCPと機能情報ネットワーク構築
災害医学研究部門 江川新一

- B-19 放射線に対する不安払拭のための基礎的研究
災害医学研究部門 千田浩一
- B-20 災害ストレスによる婦人科疾患発症予測マーカーの確立
災害医学研究部門 三木康宏
- B-21 アレルギー疾患をもった被災地小児のQOL向上
災害医学研究部門 栗山進一
- B-22 社会生活に内包した循環型震災アーカイブと利活用モデルの構築と実践
情報管理・社会連携部門 柴山明寛
- B-24 東日本大震災の被災地における津波避難対策の再構築手法に関する研究
地震津波リスク（東京海上日動）寄附研究部門 安倍祥
- C-1 児童・生徒のための効果的な減災教育ツール開発とその効果の検証
災害リスク研究部門 保田真理
- C-2 RESEARCH ON THE ACCELERATION OF AGENT-BASED
TSUNAMI EVACUATION COMPUTING FOR COMPLEX
URBAN ENVIRONMENT SIMULATION
災害リスク研究部門 マス エリック
- C-3 アレイ型地中レーダを用いた高台移転に伴う遺跡調査の効率化
災害リスク研究部門 佐藤源之
- C-4 津波及び洪水・がれきにより構造物に作用する影響に関する室内実験
災害リスク研究部門 ブリッカー ジェレミー ディビッド
- C-5 数理計画アプローチとシミュレーションアプローチを融合した
デュアルモード避難計画の策定に関する研究
人間・社会対応研究部門 金進英
- C-6 歴史における災害記録の収集と再検証
人間・社会対応研究部門 佐藤大介
- C-7 震災復興後を視野に入れた地域建設産業の革新と再生
人間・社会対応研究部門 増田聡
- C-8 リスク配慮型地域再建政策と生活再建プロセスに関する研究
人間・社会対応研究部門 井内加奈子
- C-9 小地域データを用いた大規模災害被災想定地域の地域特性の推計
地域・都市再生研究部門 石坂公一
- C-10 復興土地利用計画の実態と課題に関する横断的比較研究
地域・都市再生研究部門 姥浦道生
- C-11 震災復興・防災計画に向けた人口・土地利用に関する細密データベースの構築と活用
地域・都市再生研究部門 花岡和聖
- C-12 地震による損傷を最小限に抑えるための新しい構造材料設計法の提案
地域・都市再生研究部門 加藤準治
- C-13 市街地インフラ劣化調査のための高速移動計測車輛の研究
地域・都市再生研究部門 竹内栄二郎

- C-14 ニュージーランド・ヒ克蘭ギ沈み込み帯でのスロースリップ観測
災害理学研究部門 木戸元之
- C-15 東北日本沈み込み帯プレート境界における温度及び間隙水圧の三次元的分布の推定
災害理学研究部門 和田育子
- C-16 東北地方太平洋沖地震に伴う宮城県南部地域の地震・火山活動の検討
災害理学研究部門 岡田知己
- C-17 プレート境界すべりの準リアルタイムモニタリング
災害理学研究部門 内田直希
- C-18 火山地形を考慮した精度と効率の良い地震波伝播シミュレーション
東北大学大学院理学研究科（元 災害理学研究部門） 豊国源知
- C-19 数値モデルと衛星観測の比較による夏期日本域の降水量の定量的評価
災害理学研究部門 岩渕弘信
- C-20 宇宙放射線電子の降下にともなう電離層変動の観測
災害理学研究部門 小原隆博
- C-21 広帯域太陽電波常時観測による太陽活動危険状態の研究
災害理学研究部門 三澤浩昭
- C-22 世界の沈み込み帯における長期地殻変動の地域間比較と
国際共同研究プロジェクトの立ち上げ準備
災害理学研究部門 遠田晋次
- C-23 巨大災害発生時における被災地医療支援の在り方に関する研究
災害医学研究部門 佐々木宏之
- C-24 潜在性結核患者と結核患者の Galectin-9 発現様式の相違の検討
災害医学研究部門 芦野有悟
- C-25 災害関連発熱疾患の早期発見のためのバイオ・マーカー研究
災害医学研究部門 浩日勒
- C-26 血液中フリーラジカル定量による低線量被曝スクリーニング法の開発
災害医学研究部門 稲葉洋平
- C-27 免疫機能の活性化による災害ストレス関連精神疾患発症機構の研究
災害医学研究部門 愈志前
- C-28 東日本大震災が宮城県での婦人科がん検診体制に及ぼした影響の解析
災害医学研究部門 斎藤昌利
- C-29 学校の災害危機管理の高度化に関する総合的な調査研究
情報管理・社会連携部門 佐藤健
- C-30 L1 津波防御とまちづくりの調整に関する実践的調査
情報管理・社会連携部門 平野勝也
- C-31 震災復興祈念施設における都市・公園デザインパターンの作成
情報管理・社会連携部門 小林徹平
- C-32 災害のデータスケープ—災害研究データの視覚化表現手法の調査開発および実践
情報管理・社会連携部門 本江正茂

- C-33 巨大津波への備えに向けた適切な漁船リスク評価と防災対策の高度化
地震津波リスク（東京海上日動）寄附研究部門 サッパシー アナワット
- C-34 津波ハザードの確率論的評価に関する研究
地震津波リスク（東京海上日動）寄附研究部門 福谷陽
- C-35 東日本大震災に照らした我が国災害対策法制の問題点と課題に対する実証研究Ⅲ
人間・社会対応研究部門 島田明夫
- C-36 昭和三陸大津波以降の原地復帰に関する民俗学的研究
人間・社会対応研究部門 川島秀一
- C-37 リアルタイム雪崩ハザードマップのプロトタイプ構築
地域・都市再生研究部門 森口周二
- C-38 2007年ペルー地震によるピスコの復興過程モニタリング
地域・都市再生研究部門 村尾修
- C-39 海底水準測量手法確立に向けた技術開発
災害理学研究部門 日野亮太
- C-40 東北地方太平洋沖地震に伴う巨大津波の発生要因に関する研究
災害理学研究部門 東龍介
- C-41 低線量・低線量率放射線被ばくによる
脳梗塞・心筋梗塞発症の原因解明のための基礎的研究
災害医学研究部門 細井義夫
- C-42 大学、プライベートセクター、NGO間の防災における有効的な協力・連携モデルに
関する研究～インドネシア、バングラデシュの事例をもとに～
情報管理・社会連携部門 泉貴子
- C-43 宮城県沿岸部における地域特性と復興事業への住民の対応に関する比較研究
情報管理・社会連携部門 池田菜穂

【連携研究】

- a-1 TerraSAR-Xによる津波被災地モニタリングと
建物被害把握技術確立に向けての国際共同研究
災害リスク研究部門 越村俊一
連携機関：ドイツ航空宇宙センター
- a-2 米国地質研究所との連携による津波堆積物調査、分析法の高度化
災害リスク研究部門 後藤和久
連携機関：米国地質研究所
- a-3 水災害軽減のための流体力学の活用
災害リスク研究部門 ブリッカー ジェレミー ディビッド
連携機関：スタンフォード大学
- a-4 ニュージーランド・日本における沈み込み帯地震研究国際連携ネットワークの構築
災害医学研究部門 岡田知己
連携機関：カンタバリー大学

a-5 サバイバース・バディ（ロボット）を用いた捜索・救援の基礎的研究

災害医学研究部門 江川新一

連携機関：テキサス A&M 大学

a-6 「人間の安全保障」に基づく国際的災害医学教育研究連携体制構築

災害医学研究部門 服部俊夫

連携機関：エンジェルス大学

a-7 ハワイ大との学際的リスク研究推進のためのネットワーク構築

災害医学研究部門 浩日勒

連携機関：ハワイ大学

a-8 震災アーカイブの国際標準化及び相互連携に関する研究

情報管理・社会連携部門 柴山明寛

連携機関：ハーバード大学

a-9 津波被害からの早期復興を支援する住宅型の開発に関する国際研究

情報管理・社会連携部門 本江正茂

連携機関：インドネシア大学

a-10 APRU 大学間協力によるマルチハザードプログラムの推進

情報管理・社会連携部門 泉貴子

連携機関：カリフォルニア大学デービス校

a-11 グローバル自然災害研究に関する連携強化プロジェクト —ロンドン大学との連携

地震津波リスク（東京海上日動）寄附研究部門 サッパシー アナワット

連携機関：ロンドン大学

b-1 風評被害を克服する食料生産・供給体系の構築に関する調査研究

人間・社会対応研究部門 増田聡

連携機関：宮城教育大学、福島大学

b-2 被災地の商業機能再建モニタリング調査

地域・都市再生研究部門 花岡和聖

連携機関：宮城教育大学、福島大学

b-3 災害文化教育カリキュラムの構築

災害リスク研究部門 今村文彦

連携機関：岩手大学

b-4 超広域災害における災害対応支援 NPO の効果的な連携モデルの構築

情報管理・社会連携部門 佐藤翔輔

連携機関：岩手大学

b-5 新たな共助のプラットフォーム創出に向けた被災地での実証・実践

情報管理・社会連携部門 佐藤健

連携機関：宮城教育大学

c-1 東日本大震災における避難所医療関係資料の保存・活用に関する研究—石巻市を中心に—

宮城学院女子大学・学長（元 人間・社会対応研究部門） 平川新

連携機関：神戸大学

c-2 被災した歴史資料の復旧・保存に向けた中長期的救済法の実践的研究

人間・社会対応研究部門 天野真志

連携機関：神戸大学

c-3 大規模災害からの復興計画および実施プロセスに関する国際比較～過去・現在から未来へ～

人間・社会対応研究部門 井内加奈子

連携機関：神戸大学

c-4 震災の教訓に基づくモデリングとシミュレーションの発展方向の明示

地域・都市再生研究部門 寺田賢二郎

連携機関：神戸大学

c-5 ニュージーランド・ヒクランギ沈み込み帯での海底地震観測

災害理学研究部門 木戸元之

連携機関：東京大学地震研究所

c-6 稠密 GNSS 連続観測による東北地方太平洋沖地震の余効変動モニタリング

災害理学研究部門 飯沼卓史

連携機関：東京大学地震研究所

c-7 短～長期的地殻変動に基づく東北沖地震時沈降域の回復予測

災害理学研究部門 遠田晋次

連携機関：京都大学防災研究所

c-8 東日本大震災の被災地における「被災者目安箱システム」の開発

情報管理・社会連携部門 佐藤翔輔

連携機関：新潟大学災害・復興科学研究所

スライドショー

(常設)

A-1 年稿による巨大地震と津波の周期性の解明

東北大学大学院環境科学研究科 安田喜憲

所内共同研究者：平川新（現 宮城学院女子大学・学長）

A-2 小型水中ロボットによる会津地域の湖底の放射能汚染調査

福島大学理工学群共生システム理工学類 高橋隆行

所内共同研究者：越村俊一

A-3 災害時における避難所運営システムモデルの構築

尚絅学院大学総合人間科学研究科 水田恵三

所内共同研究者：佐藤健

A-4 福島県における歴史資料の保全と学術的活用を目的とする地域連携に基づく

現況調査と防災的保全システムの構築に関する研究

福島大学人文社会学群行政政策学類 阿部浩一

所内共同研究者：佐藤大介

A-5 地域在住高齢者における災害弱者スクリーニングと支援システムの設計

東北大学大学院医学系研究科 目黒謙一

所内共同研究者：富田博秋

A-6 大規模災害に対する保健医療災害対応マニュアルの整備と標準化に関する研究

東北福祉大学 上原鳴夫

所内共同研究者：江川新一，服部俊夫，佐藤健

A-7 低線量被ばく環境下における心理的ストレスが幼児・児童と保護者に与える影響

福島大学理工学群共生システム理工学類 筒井雄二

所内共同研究者：富田博秋

A-8 1578年千軒台大洪水の検証と海跡湖沼堆積物による古津波の検出

東北大学大学院理学研究科 箕浦幸治

所内共同研究者：平川新，蝦名裕一

A-9 津波荷重評価に基づく建築物の耐津波性能評価および

津波被災建築物の被災度区分判定技術の確立

秋田県立大学システム科学技術学部 西田哲也

所内共同研究者：今村文彦

A-10 東日本大震災被災地在住高齢者を対象とした園芸療法を用いた生活介入実証研究

東北大学加齢医学研究所 事崎由佳

所内共同研究者：富田博秋，杉浦元亮

- A-11 災害拠点病院BCP策定に向けた impact analysis 災害拠点病院の業務継続計画に関するガイドライン策定に向けた宮城県災害拠点病院全施設調査
東北大学病院 中川敦寛
所内共同研究者：江川新一
- A-12 大規模災害後の胎児、新生児への健康影響に関するゲノムコホート研究と妊婦のメンタルヘルスケア
東北大学大学院医学系研究科 有馬隆博
所内共同研究者：富田博秋，伊藤潔
- A-13 岩盤斜面の3次元安定度評価システムの開発
東北大学大学院工学研究科 京谷孝史
所内共同研究者：寺田賢二郎，加藤準治
- A-14 具体的震災対策提言を目指した災害文化の研究
東北大学大学院文学研究科 阿部恒之
所内共同研究者：平川新（現 宮城学院女子大学・学長），今村文彦，佐藤翔輔
- A-15 半島部漁業集落のくらしの再・創生のための研究及び実践活動
東北工業大学工学部 福屋粧子
所内共同研究者：平野勝也，今井健太郎，小野田泰明，本江正茂
- A-16 東北地方太平洋沖地震津波で被災した宮城県松島湾の海底環境の被災状況把握と環境修復・影響評価に関する研究
東北大学大学院工学研究科 西村修
所内共同研究者：今村文彦
- A-17 RC橋脚の損傷度に対応した地震動強度指標の開発とその振動台実験による検証
東北大学大学院工学研究科 鈴木基行
所内共同研究者：越村俊一
- A-18 大規模災害ストレスによるアルコール依存の形成・病態機序の解明
東北大学大学院医学系研究科 曾良一郎
所内共同研究者：富田博秋
- A-19 重金属汚染除去のための
金属吸着タンパク質細胞表面提示技術の開発とバイオリソースの集積化
東北大学大学院工学研究科 久保田健吾
所内共同研究者：佐藤翔輔
- B-1 物語としての震災体験談の分析と記憶に関する研究
仙台青葉学院短期大学ビジネスキャリア学科 細川彩
所内共同研究者：邑本俊亮
- B-2 情報通信技術とロボット技術を利用した養殖業復興支援システムの開発
京都大学大学院工学研究科 松野文俊
所内共同研究者：柴山明寛，田所諭

- B-3 不均質地殻構造を考慮した東北地方太平洋沖地震の
地殻変動・津波生成のモデル化—隣接域の地震発生の可能性評価—
東北大学大学院理学研究科 伊藤喜宏
所内共同研究者：飯沼卓史
- B-4 震災後精神症状の脆弱性因子／獲得因子／回復過程の
心理・神経基盤及び遺伝的背景の解明
東北大学加齢医学研究所 関口敦
所内共同研究者：富田博秋，杉浦元亮
- B-5 地盤変状に起因する送電鉄塔および基礎の損傷後余耐力
東北大学大学院工学研究科 山川優樹
所内共同研究者：寺田賢二郎，加藤準治
- B-6 2011年東北地方太平洋沖地震による仙台市の造成宅地と
インフラ被害のデータベースの作成
東北大学大学院工学研究科 森友宏
所内共同研究者：柴山明寛，佐藤翔輔
- B-7 陸前高田市今泉地区の歴史を活かした復興計画の核となる吉田家と
街並みのCG&復原模型と復興計画案の作成
八戸工業大学 月舘敏栄
所内共同研究者：石坂公一
- B-8 復興計画策定における合意形成の迅速化に関する研究：被災者の意見変容過程の解明
東北大学大学院国際文化研究科 青木俊明
所内共同研究者：奥村誠
- B-9 東日本大震災におけるRC造建築物の耐震補強効果の検証と被災度判定技術の確立
東北大学大学院工学研究科 前田匡樹
所内共同研究者：源栄正人
- B-10 災害エスノグラフィー手法を用いた借り上げ仮設住宅世帯の生活再建過程の分析
常葉大学大学院環境防災研究科 田中聡
所内共同研究者：佐藤翔輔
- B-11 リアルタイム地震・津波ハザードマッピング技術の仮想化とクラウドシステムの構築
東京工業大学理工学研究科 松岡昌志
所内共同研究者：越村俊一
- B-12 生体試料を用いた低線量放射線影響の基礎的研究
筑波大学医学医療系 盛武敬
所内共同研究者：伊藤潔，千田浩一
- B-13 海中の異常信号を検知する簡易設置型海洋エレベーターの開発とその検証
東京工業大学理工学研究科 塚越秀行
所内共同研究者：今村文彦

- B-14 原発事故による農業の風評被害と営農再建に関する調査研究
東北大学大学院環境科学研究科 関根良平
所内共同研究者：邑本俊亮, 柴山明寛
- B-15 光学リモートセンシング画像解析に基づく早期被災地マッピング技術の構築
東京工業大学理工学研究科 三浦弘之
所内共同研究者：越村俊一
- B-16 海岸線変動を用いた東北沖巨大地震の発生履歴の解明
大阪市立大学大学院理学研究科 原口強
所内共同研究者：遠田晋次, 岡田真介
- B-17 津波遡上が河川生態系に及ぼす影響評価
愛媛大学大学院理工学研究科 渡辺幸三
所内共同研究者：越村俊一
- B-18 日本全国を対象とした流域スケールの雨水貯留容量マップの作成
福島大学理工学群共生システム理工学類 横尾善之
所内共同研究者：真野明
- B-19 復興計画及び地震被害想定支援に向けた
動的な空間的マイクロシミュレーションによる中長期的な地域人口推計法の確立
立命館大学文学部（現 地域・都市再生研究部門） 花岡和聖
所内共同研究者：石坂公一
- B-20 船舶避難・待避ハザードマップの構築
神戸大学大学院海事科学研究科 小林英一
所内共同研究者：越村俊一
- B-21 経験の蓄積を踏まえた津波復興まちづくりの計画立案手法の研究
常葉大学大学院環境防災研究科 池田浩敬
所内共同研究者：佐藤翔輔
- B-22 海底観測時系列データのウェーブレット解析および
統計解析による地殻変動成分抽出に関する研究
岩手大学人文社会科学部 川崎秀二
所内共同研究者：木戸元之
- B-23 日台における災害教育に関する実証的研究：
3. 11 を教訓にした感染症教育プログラムの検討
順天堂大学大学院医学研究科研究基盤センター 坪内暁子
所内共同研究者：佐藤健
- B-24 発達障害を持つ子のための防災教育および防災対策
太成学院大学人間学部 堀清和
所内共同研究者：佐藤健
- B-25 GIS を用いた東北地方太平洋沖地震による建物被害分布の地形・地質学的要因の検討
産業技術総合研究所 中澤努
所内共同研究者：岡田真介

- B-26 東日本大震災による地域経済への影響に関する調査
京都大学防災研究所 多々納裕一
所内共同研究者：奥村誠
- B-27 津波からの安全避難を目的とする平常時・非常時の道路運用方法に関する研究
東京電機大学理工学部 高田和幸
所内共同研究者：奥村誠
- B-28 遠隔ロボットと繫留型浮遊体を用いた三人称視点での情報収集システムの開発
慶應義塾大学理工学部情報工学科 杉本麻樹
所内共同研究者：越村俊一
- B-29 大規模災害における民俗（民族）知の援用に関する実践的研究
東北芸術工科大学芸術学部 田口洋美
所内共同研究者：佐藤翔輔
- B-30 震災復興と事前復興支援のための復興まちづくり事例データベース
兵庫県立大学防災教育センター 馬場美智子
所内共同研究者：佐藤翔輔
- B-31 災害に頑健な物流のデザインに関する政策分析
東北大学大学院環境科学研究科 堀江進也
所内共同研究者：平川新（現 宮城学院女子大学・学長）
- B-32 心の復興－「ことばの移動教室」による教育実践－
東北大学大学院教育学研究科 小泉祥一
所内共同研究者：佐藤健
- B-33 津波被災地の商業機能再建モニタリング調査
東北大学大学院理学研究科 磯田弦
所内共同研究者：奥村誠，石坂公一，柴山明寛，安倍祥，増田聡
- B-34 竜巻等突風災害に対する個人および行政レベルの対応マニュアルに関する研究
東北大学大学院工学研究科 植松康
所内共同研究者：佐藤健
- B-35 東日本大震災の震災資料の所在調査および収集・保存の手法等に関する検討
－宮城県岩沼市をフィールドとして－
神戸大学大学院人文学研究科 奥村弘
所内共同研究者：天野真志
- B-36 津波体験ドライビングシミュレータを用いた避難誘導実験
千葉大学大学院工学研究科 丸山喜久
所内共同研究者：越村俊一
- B-37 教員養成における防災教育に関する研究
山形大学大学院教育実践研究科 村山良之
所内共同研究者：佐藤健

B-38 震災復興における福島県小規模自治体を対象とした実践型地域再生モデル

仙台高等専門学校建築デザイン学コース 坂口大洋

所内研究者：石坂公一

B-39 液状化地盤における杭基礎の倒壊に伴う高層建築物の倒壊シミュレーションと
杭基礎の終局限界設計法の確立

東北大学未来科学技術共同研究センター 木村祥裕

所内共同研究者：源栄正人

別掲 4

会場アクセス



住所：仙台市青葉区片平二丁目1-1 東北大学片平キャンパス 片平さくらホール

※大学構内には専用駐車場がございませんので、一般駐車場もしくは公共交通機関等をご利用頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

(問合せ先) 東北大学災害科学国際研究所 金曜フォーラム
Eメール：forum@irides.tohoku.ac.jp